

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和6年5月17日（金）午後3時00分から午後3時55分		
開 催 場 所	第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 井上委員 日高委員 大熊委員		
欠 席 委 員	神山委員		
事 務 局 員	碓井文化財係長 高木主任（学芸員） 海谷文化財センター職員		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 報 告 令和5年度の事業報告について</p> <p>(2) 議 題 ア 令和6年度の事業計画について イ 「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の検討状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>3 次回の市史さん委員会日程 第2回 令和6年10月11日（金）15時予定</p>		

会 議 結 果

碓井文化財係長	<p>1 開 会</p> <p>皆様こんにちは。本日はご多忙の折、令和6年度第1回市史編さん委員会にご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>本日、大変恐縮でございますが、公職委員の副市長が欠席になっております。また、公職委員の教育長は別の公務の関係で途中退席とさせていただきます。何卒ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、生涯学習課長の三浦につきましても、本日、他の公務のため欠席させていただいてございます。事務局体制が不十分で大変申し訳ございません。</p> <p>なお、令和6年度の市史編さん事務局の体制変更、人事異動等ございませんでしたので、ご報告をさせていただきます。</p> <p>それでは、議題に先立ちまして、本日の配布物の確認をお願いいたします。</p>
高木主任（学芸員）	<p>（資料確認）</p>
碓井文化財係長	<p>それでは、議事進行につきましましては根岸委員長にお願いさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。</p>
根 岸 委 員 長	<p>本日もお忙しいところお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。令和6年度第1回委員会となりますが、「ビジュアル版小金井市史（仮）」について編集委員の間で少しずつ検討を始めており、それも含めて令和6年度も市史編さん業務を継続していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p>
根 岸 委 員 長	<p>2 議 事</p> <p>(1) 報 告</p> <p>令和5年度の事業報告について</p> <p>それでは、「報告 令和5年度の事業報告について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任（学芸員）	<p>それでは、「報告 令和5年度の事業報告について」につきまして、私の方からご報告させていただきます。本件につきましましては、令和5年度における本委員会におきまして未報告の内容や、主要事業を中心にご報告させていただきます。</p> <p>○市史編さん委員会</p> <p>予定通り年3回の会議を開催することができました。新たな次の刊行物に向けて、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の検討を進めてまいりました。同時に、編集委員会におきまして、具体的な目次構成等の細部に係る検討も進めさせていただいているところです。</p>

	<p>○古文書調査 根岸委員長に引き続きお願いさせていただき、「梶野家文書」の筆写に関する調査を、継続的に進めました。</p> <p>○名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業 「小金井市史 資料編小金井桜」も活用しつつ、令和5～6年度において、「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」を実施しています。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p>
大熊委員	<p>「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」におきましては、記念式典時にご招待者の皆様にお渡しさせていただく冊子を作成いたしますが、大部分の情報につきましては、市公式ホームページとは独立した「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念ホームページ」を新たに立ち上げ、そちらでご覧いただく形を取ることを計画しております。</p> <p>市史編さん事業におきましても、現在「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行に向けた検討をお願いさせていただいておりますが、刊行物を「冊子」として残すことももちろん重要であると考えますが、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」につきましては、メインターゲットを小中学生の児童・生徒としている点もあることから、「全員がパソコンを持っている。」という現在の小中学生の児童・生徒の現状に鑑み、ホームページへの電子データの掲載につきましても是非本委員会においてご議論いただければ、と思いますので、何卒よろしくお願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。貴重なご意見ですので、これから考えていきたいと思えます。</p>
委員全員	<p>他にご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p> <p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>(2) 議 題 ア 令和6年度の事業計画について それでは、「議題ア 令和6年度の事業計画について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任(学芸員)	<p>○市史編さん委員会 令和6年度も年3回の開催を予定しております。第1回は令和6年5月17日（金）、第2回は令和6年10月頃、第3回は令和7年2月頃の開催を予定しております。本委員会の下に「編集委員会議」を</p>

	<p>設置していますが、「編集委員会議」は、令和6年5月17日現在、「ビジュアル版小金井市史（仮）」の刊行計画に関する議論を行っています。今後は、構成等のより内容面の検討を進めてまいります。</p> <p>○古文書調査委託 引き続き「梶野家文書」の調査を継続してまいります。</p> <p>○史料調査 「梶家文書」は重要度が大変高い文書となりますので、計画的に調査を進めていく必要があると考えております。また、その保持団体である「結城座」が小金井市内に活動拠点を有する「江戸糸あやつり人形」に関する調査も進めていくこととしています。</p> <p>○市史編さん資料の刊行 「梶野新田梶野家文書」の続編の刊行を想定しておりますが、今後は「梶家文書」の調査も進めていく必要があるため、「梶野家文書」の残りの文書数等も確認しつつ、「梶家文書」の調査も同時進行で進めてまいります。</p> <p>○市史編さん市民協力員 令和6年度も引き続き「閑野 寿幸氏」「美谷島 恵子氏」の両氏に、より地域に根差した活動を依頼させていただきます。</p> <p>○市史編さん調査員 令和6年度も引き続き「柏木 一朗氏」に主に近現代史に関する資料収集を依頼させていただきます。なお、近現代史につきましては、陸軍技術研究所等に関する調査を中心に進めていただいているところです。</p> <p>○多摩郷土誌フェア 東京都市社会教育課長会の主催事業でございますが、令和6年度につきましては、開催日は令和7年1月18日（土）・19日（日）の2日間を予定させていただいております。ただし、例年会場として「立川市女性総合センター・アイム」を使用させていただいておりますが、令和6年度に関しては、開催時期に建物の改修工事が予定されているため、会場については令和6年5月17日時点では未定であり、今後社会教育課長会において協議の上決定するとのことです。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>イ 「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の検討状況についてそれでは、「議題イ 『ビジュアル版 小金井市史（仮）』の検討状況について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
海谷文化財センター職員	<p>市史編さん業務担当の海谷です。よろしくお願いいたします。</p>

まず、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行スケジュールにつきましては、令和6年2月に開催いたしました「令和5年度 第3回市史編さん委員会」の場においてご提示させていただいたものと変わっておりませんが、確認のみさせていただきます。

令和5年度において「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の仕様決定、令和6～8年度において原稿執筆・作図等の内容作成、令和9年度に校正作業・原稿完成・データ版の作成等を行い、令和10年秋頃を目途に刊行及びデータ版公開を行うという予定で進めさせていただいています。

令和5年度において決定した仕様につきましては、A4版オールカラー・総ページ数140ページ程度、うち見開き2ページで1テーマを見せる形の本文が100ページに、コラム・付録等を付けて総ページ数を140ページ程度とする、というものです。

そして、令和6年度の令和6年5月8日開催の「編集委員会議」におきまして、当該仕様に基づき、内容についての検討を開始したところとあります。

本日、資料として「台割表」をお示しさせていただいておりますが、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の内容としては、既に刊行されている「小金井市史 通史編」に記載されている内容のうち、よりビジュアル的にわかりやすいテーマを選び、視覚的にわかりやすい形で紹介していく内容となりますので、「どのようなテーマを選ぶか」という部分の検討を開始しています。

まず、ページ数の割り振りににつきましては、「小金井市史 通史編」の時代毎のページ数の割合に合わせる形で、時代毎のページ数を仮に割り振りしていますが、令和6年5月8日開催の「編集委員会議」において、「近代」「現代」については、「小金井市史 通史編」のページ数の割合ほど厚くする必要はないのでは、というご意見もいただいております。現在検討を行っているところであり、令和6年5月17日現在の検討状況といたしましては、総ページ数については148ページ程度を見込んでいます。

ただし、「国分寺市」「稲城市」の類似の刊行物の事例につきましては、ページ数はそれより少し少ないことから、小金井市においてもページ数を少し減らす可能性もございます。

そして、本日お示しさせていただきました「台割表」につきましては、事務局において作成させていただいた案をベースに、根岸委員よりご指摘いただきました内容を反映させたものでございますが、この内容を今後詰めていくに際しまして、編集委員の皆様におかれましては、次回の編集委員会議を令和6年8月29日（木）に開催予定でございますので、その際に各々ご担当の時代につきまして、テーマ・タイトル案をお示しいただき、より検討を深めていくことを予定しております。

また、各ページの具体的なイメージ、見え方につきましては「レイ

アウト例」という形でお示しさせていただいております。

まず、章の編成につきましては、「小金井市史」同様、時代別の6章編成を想定していますが、「各章の扉ページ」のレイアウト案をお示しさせていただいております。「時代区分スケール」及び「時代毎の簡易年表」を記載しています。さらに、「ビジュアル版」であることから、「各章の扉ページ」においても「写真」「図」といった視覚的にわかりやすいものに文面を大きく割きたいと考えています。

また、「令和5年度 第3回 市史編さん委員会」の場におきましても問題提起がございましたが、「小金井市史」における時代区分は、学校教育課程における日本史学習における時代区分と必ずしも一致していないことから、「各章の扉ページ」において、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」における時代区分と学校教育課程における日本史学習における時代区分とを対照する文面も掲載していく、という方向性で考えております。

なお、「各章の扉ページ」に掲載する簡易年表の記載内容につきましては、歴史上よく知られている事象を掲載するのか、或いは全体の流れがわかるような説明文を掲載するのか、という点につきましては、今後考慮していく必要があると考えております。

次に、1ページ単位で独立した「コラム」のレイアウト案につきましては、コラム毎に付番した番号・タイトルを掲載し、「写真」「図」をメインに大きく掲載し、「解説文」を添えるような形で考えさせていただいております。

ただし、「コラム」につきましては、その性質上内容によってレイアウトは自由度を高めてよいと考えていますので、あくまで参考案として捉えていただければ、と考えております。

そして最後に、A3横でお示したものがメインとなる見開き2ページの「本文」部分のレイアウト案となります。

見開き2ページの右上部分に「第●章・第●●番目」の記事であることを明記し、「メインタイトル」及び、「わかりやすさ」の観点から必要に応じて「サブタイトル」を付けることとします。さらに、現段階においてはあくまで一案ですが、既刊の「小金井市史 通史編」「小金井市史 資料編」の対照ページについても掲載できれば、とも考えています。

なお、「編集委員会議」において議論してまいりました通り、「写真」や「図」についてはメインの1枚を大きく掲載するほか、小さめのものも掲載する。解説文については概ね片面の3分の2程度の文量に収めますが、「写真」「図」にはキャプションを付け、内容によってはキャプション部分に分量を割き、解説することを考えています。

また、時代区分毎の最後の項目においては、次の時代の概要等にも触れるような「まとめ」の文章を掲載する、という案も考えています。

現時点での検討・進捗状況につきましては概ね以上となります。今後は、令和6年8月29日（木）に開催予定の編集委員会議までに、

編集委員の皆様におかれましては、各々ご担当の時代につきまして、テーマ・タイトル案をお示しいただきますようお願いいたします。

なお、先ほど「小金井市史」における時代区分は、学校教育課程における日本史学習における時代区分と必ずしも一致していない、というご説明をさせていただきましたが、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」においては、可能な範囲で学校教育課程における日本史学習における時代区分と合わせることができないか、小金井市内の小中学校で使用している副読本において時代区分がどのように扱われているか、令和6年8月29日（木）に開催予定の編集委員会議までに事務局において調査を行います。

現在、根岸委員長より資料として、高等学校において使用されている副読本を拝借させていただいておりますので、当該資料についても合わせて調査を行い、令和6年8月29日（木）に開催予定の編集委員会議の際にその調査結果についてご報告させていただくことを想定しておりますが、当該資料をざっと拝見した感じですと、明確な時代区分はされていないように見受けられました。

今後は、小中学校の副読本も合わせて検証を進めながら、その結果も勘案しつつ、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」において時代区分をどのような形にしていくのか検討していくことになると思います。

補足の説明です。令和6年5月8日開催の「編集委員会議」後に根岸委員長より、「付録」として「土地利用」「人口」「農業」「産業」「教育」等の変遷がわかる統計資料を掲載してはどうか、というご提案をいただきましたので、本日お示しさせていただいた「台割表」において「付録1」としてお示しさせていただいております。

根岸委員長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？

「土地利用」「人口」「農業」「産業」「教育」等の変遷には、「時代」や「生活」の変化の画期が反映されていると思われまますので、そのような資料が掲載できれば、と考えています。

海谷文化財センター職員

そして、「付録2」として「2万分の1迅速測図」を掲載させていただくことを考えています。「迅速測図」は、明治時代初期に作成されたもので、実物は北関東エリアまで含まれているものになりますが、そのうち現在の小金井市域に当たる範囲を掲載するとわかりやすいのでは、と考えています。

それを「ビジュアル版 小金井市史（仮）」に掲載する意義は十分にあると考えますし、さらに、ウェブ上で閲覧できる旨も示せば、大熊委員が指摘されている「教育現場における学びの促し」にも繋がるのでは、と考えています。

さらに、過日牛米委員よりご提案いただきました「小学校変遷表」（明治期に開校した小学校が、現在のどの小学校に繋がっているのか

根岸委員長	<p>を示した表)を「付録3」として掲載させていただくことを考えています。牛米委員より、「『時代区分』で考えると『近代～現代』に跨る内容となるため、『付録』として掲載してはどうか。」「『小学校変遷表』は多くの自治体で作成しており、「自治体史」関連の資料にも掲載されていることから、『ビジュアル版 小金井市史(仮)』にも掲載した方がよいのでは。」というご意見をいただいています。</p> <p>また、「付録4」につきましては、令和6年5月17日時点におきましては掲載するか否か未定ですが、「地名比較表」(「大字」と現在の「町名」の対比を示した表)につきましても、調査の結果わかりやすく当てはまる場合には、掲載してもよいのでは、と考えています。</p> <p>ありがとうございました。「付録」及び「コラム」の掲載項目につきましては、令和6年5月17日時点におきましては、令和6年8月29日(木)に開催予定の編集委員会議までに各々ご担当の時代につきまして、「付録」及び「コラム」の掲載項目案をお示しいただくこととなっております、今後も色々ご提案もいただけるのではないかと考えていますが、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
井上委員	<p>「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の進捗状況につき、詳しくご説明いただきありがとうございます。まずは、ここまでのご検討に当たられました編集委員の皆様のご苦勞に謝意を表します。</p> <p>ご説明をお伺いさせていただき、随分と進めていただいていることがわかり、今後を楽しみにさせていただきます。</p> <p>「付録」案としてご説明いただいた統計資料等も、学校教育の現場や、様々な啓発事業において幅広く活用できる可能性があるのでは、と期待しております。そういう意味においても、「広がり」「深まり」ができる1冊になることが期待できるのでは、と思っています。</p> <p>「地名比較表」につきましても、意外と昔の名残が残っている地名もあれば、まるで違う地名になっているものもありますし、そういう部分も含めて大変興味深い印象を持っています。</p>
根岸委員長	<p>もし「小字」レベルまで掲載できると、随分と興味深いものになると思います。</p>
海谷文化財センター職員	<p>「小金井市誌 地名編」に「地名対照表」は掲載されていますが、少し「読み難い」「理解し難い」ものになってしまっている部分は否めず、もう少しわかりやすいものを作成することができれば、と考えています。</p>
根岸委員長	<p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
日高委員	<p>「付録」に関しましては、突き詰めていくとどんどん文量が増えて</p>

<p>根岸委員長</p>	<p>いってしまう面もありますので、「どこまで」「どういう形で」見せるのか、という点が重要になってくると考えます。</p> <p>例えば「土地利用」については、年代によって全く異なりますので、「現在との比較」という見せ方をするのか、「変遷の経過をわかる範囲ですべて」という見せ方をするのか、手法によっては結構なボリュームになることが想定されます。</p> <p>「地名比較表」についても同様の状況にあると考えられ、「どこまで深掘りするのか」によってはかなりのボリュームになることが見込まれますので、おそらく執筆過程においてバランス調整を図っていくことになると思われませんが、「どこまで」「どういう形で」情報を見せていくのか、については慎重に検討する必要があると考えます。</p> <p>「ビジュアル版」と銘打つ以上、「小金井市史 資料編」を想起させるような、何ページにもわたる統計資料の羅列の掲載は趣旨に沿わないと考えますので、「落としどころ」をどこに設定するのか、という点については議論を尽くしていく必要があると思います。</p> <p>「ビジュアル版」における統計資料の「見せ方」として考えられる1つの手法として「グラフ」という形で整理できると良いのでは、とは考えています。</p>
<p>日高委員</p>	<p>それは、統計資料を「グラフ」という形に加工し、見せる、ということでしょうか？</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>必要な数値については当然に付記することとしますが、「ビジュアル版」を意識し、「グラフ=図」という形で見せることを意識しました。</p>
<p>海谷文化財センター職員</p>	<p>「ビジュアル版」らしい「見せ方」は技術的には十分可能ですが、元になるデータに関しましては、特に古い時代のデータについては完璧に毎年のデータが揃っている項目はまずありません。「たまたまデータが残っている年がある。」というものが大部分です。</p> <p>例えば「土地利用」に関して申し上げますと、「●●●●年 米作●反」のような形で記録上は残っています。</p> <p>ただし、それでも先ほど日高委員よりご指摘いただきましたとおり、全てのデータを資料化すれば、それだけで1冊の刊行物になりますので、「視覚的に一目見てわかる範囲にまとめる。」という漠然としたイメージは持っていますが、実際のところは、作業しながらすり合わせていく形にならざるを得ないと思います。</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>例えば「人口」であれば5年毎程度のデータでよいと思います。</p>
<p>日高委員</p>	<p>小金井市域については、かつてアメリカ軍が撮影した上空写真はあ</p>

	<p>るでしょうか？</p>
根岸委員長	<p>あります。</p>
日高委員	<p>では、かつてアメリカ軍が撮影した小金井市域の上空写真は、既刊の「小金井市史」に掲載していますか？</p>
高木主任（学芸員）	<p>これまでは掲載していません。</p>
日高委員	<p>かつてアメリカ軍が撮影した小金井市域の上空写真と、現在の小金井市域の航空写真との対比は、まさに「ビジュアル版」ならではのコンテンツであり、掲載した方が良いと考えます。</p> <p>かつてアメリカ軍が撮影した上空写真に係る資料につきましては、国土地理院で簡単に閲覧することが可能です。</p>
海谷文化財センター職員	<p>国分寺市の類似の刊行物の事例では、表紙の見返し部分にかつてアメリカ軍が撮影した上空写真を掲載しています。</p>
根岸委員長	<p>国分寺市以外の複数自治体の市史関連の刊行物の事例においても、昭和22年にアメリカ軍が撮影した上空写真と、現在の航空写真との比較を資料として掲載しています。</p>
日高委員	<p>「令和」時代に撮影した「現在」の写真もちろんですが、「昭和40～50年代」頃に撮影した写真も、現在とは大分違いがありますので、そういった写真も含め、「対比」を見せる、ということはよいと考えます。</p>
根岸委員長	<p>おそらく「本文」部分にもそのような写真は掲載する形になると思われます。</p> <p>また、先ほど日高委員よりご指摘いただきました、国土地理院において閲覧可能な上空写真の中には、昭和17～18年の戦時下に、当時の「陸軍省 航空大学院」が撮影した航空写真もあり、戦時下の状況を知る上で興味深い資料です。</p>
海谷文化財センター職員	<p>国土地理院所管の資料につきましては、出典表示を行えば転載可能です。</p>
根岸委員長	<p>ただし、「陸軍省 航空大学院」が撮影した航空写真は解像度が悪く見づらい、という難点があります。</p>
日高委員	<p>今後、本委員会としてはそのような基礎資料の収集も進めていき、どの資料を掲載するのかについて検討していく形になると思います。</p>

海谷文化財センター職員	写真をベースとして、解説を付記する、という手法もあると思います。
日高委員	先ほど「報告 令和5年度の事業報告について」においても、調査員の方に軍関連資料の調査をお願いしている、というご報告もいただきましたので、そういった調査の成果についても「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の中で生かしていくことができれば、と考えています。 もちろんベースになるのは「小金井市史 通史編」「小金井市史 資料編」に掲載している内容になりますが、その際には掲載できなかった内容、特に「写真」「図」「絵図」のような視覚的にわかりやすいものはできるだけ掲載していくことができれば、と考えています。
根岸委員長	他にご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？
委員全員	(特になし)
根岸委員長	「ビジュアル版 小金井市史(仮)」につきましては、今後テーマ・タイトル案や、作業が具体化していく過程において、色々な案が出てくるものと認識していますが、本委員会のおきましても、お気づきの点等ございましたらご指摘の程よろしくお願ひします。 「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の検討・作業等の進捗状況につきましては、本委員会のおきにおいては毎回報告・情報共有を図っていただく、という認識でよろしかったでしょうか？
高木主任(学芸員)	はい。その予定です。
根岸委員長	本委員会におきましても、今後もその中で色々のご意見等お伺いできれば、と考えています。
根岸委員長	(3) その他 それでは、「(3) その他」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
(全委員・事務局)	特にございませぬ。
根岸委員長	3 次回の市史さん委員会日程 それでは、「3 次回の市史さん委員会日程」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
碓井文化財係長	令和6年度 第2回 市史編さん委員会につきましては、令和6年10月11日(金)午後3時より、本庁舎第一会議室におきまして開

	催させていただきたい、というのが事務局案でございます。
委員 全 員	(異議なし)
根岸委員長	以上で本日の議題は全て終了いたしました。他に何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？
委員 全 員	(特になし)
根岸委員長	それでは、以上をもちまして令和6年度 第1回 市史さん委員会を終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。